

メッセージ： 什分の一と献金 : クリスチャーの奉仕

OICの皆様、おはようございます。
ようこそ天の父なる神の家へ来られました。皆様を歓迎いたします。

今日は、天の父なる神様の御子イエス様の教会を通して神様に献金をするというクリスチャーの奉仕について、聖書が語っていることを見ていきましょう。OICでは毎週日曜日の礼拝で、人々がイエスキリストのために献金をして神様に仕えるという機会をもっています。私は、教会に献金することは奉仕の機会として神様が意図しているのであって、律法の重荷として神様が意図しているのではないことを示したいと思います。什分の一献金の起源と、それが何千年もの間、ユダヤ人の神様への礼拝とともにどのように続いてきたかを見ていきましょう。私たちはまた、什分の一献金が今日の私たちひとりひとりにとって何を意味するのかを理解するためにも奮闘していきたいと思います。私はこの理解するための奮闘を真実のための奮闘、聖書のアドベンチャーと呼びましょう。

始めましょう。

什分の一献金についてコンピューターで検索すると、最初に出てくるのは旧約聖書の預言者マラキの神様の言葉です。

<マラキ書 3章7節-9節>

7 あなたがたは最初からわたしの律法を軽んじてきたが、まだわたしのもとに帰ることができる。」主は語ります。「さあ、帰って来なさい。そうすれば、あなたがたを赦そう。しかし、あなたがたは言う。『私たちは背いたことなどありません』と。

聖書はこの一節で、什分の一献金が全能の神様にとっていかに重要であることを明らかにしています。不従順は、当時の神様との関係においても、現在の主イエス様との関係においても、離別の理由となります。

{あなたは神様から盗んでいる} 8 “人は神のものを盗めるだろうか。できるわけがない。ところがあなたがたは、わたしのものを盗んでいる。『何のことですか。いつ神のものを盗みましたか。』あなたがたは、わたしに納めるべき収入の十分の一と ささげ物を盗んだ。

9 それであなたがたは、神の恐ろしいのろいによって、のろわれているのだ。あなたがたの民全体が、わたしのものを盗んでいるからだ。

10 収入の十分の一をすべて倉に携えて来なさい。そうすれば、わたしの神殿には食べ物が十分あるようになる。あなたがたが十分の一をささげれば、わたしはあなたがたのために天の窓を開いて、受け止めることができないほどの祝福をあふれるばかりに注ごう。試してみなさい。わたしは、そのことを証明しよう。

11 わたしが穀物を害虫や病害から守るから、あなたがたの収穫は多くなる。ぶどうが熟す前にしぼんでしまうこともない。」主は語ります。

12 「すべての国々の民は、あなたがたを祝福された者と言う。あなたがたが幸福に輝く国となるからだ。」これが全能の主の約束です。

神様は、アブラハムの信仰という旧約聖書においても、イエスキリストの血という新約聖書においても、神様の愛は愛によって結ばれた関係であることを明らかにしています。以前にもメッセージしたように、神様との愛の関係は神様と人との結婚のようなものです。イエス様がこの地上に来られて以来、私たちクリスチャンはイエス様と結婚した花嫁のような存在であり、天国での最後のセレモニーを待っています。神様の愛は無制限の愛ですが、婚約した男女がもつような霊と態度の「条件」があります。愛のない結婚は神様の心と思いで全く結婚ではありません。

神様に正しい**什分の一献金**の贈り物を捧げる人々に対して、神様はこう言っています。

“私はあなたのために天の窓を開きます。” これは、経済的な繁栄（必ずしも今日の基準で百万長者や億万長者を意味するものではありません。しかし、より農村的な経済では豊富な供給があります。）に対する神様の約束です。私たちの聖書アドベンチャーは、この後、イエス様が十字架で流された血潮が記載されている新約聖書において、神様が今私たちに何を期待されているのかを理解を求め、分かっています。しかし、まず第一に。 .

マラキもまた、神様からこう約束されました。

12「すべての国々の民は、あなたがたを祝福された者と言う。あなたがたが幸福に輝く国となるからだ。」これが全能の主の約束です。

「最近の国家的プライドは、怖いもの、恐いもののように思えます。そのようなプライドのために、多くの戦争が始まりました。しかし、私たちは、イスラエルが実は「わたしはあると語られた大いなる唯一の神の国」であったことを忘れてはなりません。国家の誇りは神様の誇りでした！神様は、混沌と戦争の世界の中でこれほど繁栄した国を作ることができる「神様」を見るために、すべての国々がエルサレムの神殿で神様のもとに来ることを望んだのでしょうか？実際、イスラエルが世界で最も豊かで、最も賢明な国であったソロモン王の時代には、このようなことが起こっていました。

<歴代誌Ⅱ9章1節-9節>のシバの女王の訪問に見られます。

1 そのころ、ソロモン王の知恵のすばらしさを伝え聞いたシェバの女王は、難問をしかけて王を試そうとエルサレムにやって来ました。香油や金、宝石をらくだに山と積んで、大ぜいの家来や召使を従えて来ました。

2 ソロモンは、彼女のすべての質問に明快に答えました。わからないことは一つもなく、何でも説き明かすことができました。

3 女王はその知恵の深さにたいそう驚き、王宮の美しさにもすっかり圧倒されました。

4 そのうえ、食卓の料理の豪勢なこと、王に仕える家来や従者の多いことは目をみはるばかりでした。彼らのそろいの服装、威儀を正した側近たち、王を護衛する人々を見て、息も止まりそうでした。

5 そこで彼女は、思ったとおりをソロモン王に言いました。「私の国であなたについてお聞きしたことは、みなほんとうでした。

6 実は、ここに来てこの目で拝見するまでは、とても信じられませんでした。あなたは、私が想像していたより、はるかにすばらしい知恵をお持ちです。

7 おそばにいて、あなたのお話を聞けるこの方々はなんと幸せなことでしょう。

8 あなたの神がほめたたえられますように。あなたの神はイスラエルをことのほか愛しておられるので、あなたのようなすばらしい王をお立てになったに違いありません。きっと、イスラエルがいつまでも偉大な、強い民であることを望んでおられるのです。」

9 女王はソロモンに、百二十タラントの金と、最高の品質を誇る大量の香油、それに数えきれないほどの宝石を贈りました。

シバの女王が感じ、見た神様の臨在が、彼女の心を動かして、地上で最も裕福な男性に富を与えたことは、(8-9 節) 注目に値します！これは、旧約聖書が要求する全能の大いなる唯一の神様への信仰に従った女王の救いの証だったのでしょくか？そうかもしれません。しかし、その女王の献げものはソロモンだけでなく、神様への畏敬の念から出たものなので、女王の什分の一献金や献金と呼ばれるかもしれません。

では、什分の一献金の語源や始まりを見てみましょう。

什分の一献金と律法

多くのクリスチャンは、什分の一献金について、モーセを通してイスラエルの民に与えられた神様の律法(十戒)の中の命令としてしか考えていません。聖書学者は、この神様の律法(十戒)は紀元前 1440 年頃(キリスト以前)の出来事だと推定しています。これは <申命記 14 章 22 節>に見られます。:

毎年、収穫の十分の一をささげなさい。

しかし聖書は、10 分の 1 の贈り物である什分の一献金は、「信仰の父」アブラハムが神の人である無名の祭司に「収入」の 10 分の 1 を贈ったことから始まったと教えています。これは紀元前 2090 年頃(キリスト以前)のカナンでの出来事でした。祭司はメルキゼデク王、サレムの王(平和)と呼ばれました。<創世記 14 章 17 節-20 節>に、この歴史的な出会いが記されています。

17 こうしてアブラムがケドルラオメル王を打ち破り、現在の「王の谷」に当たるシャベの谷まで引き上げると、ソドムの王が彼を出迎えました。

18 また、シャレム〔エルサレム〕の王、いと高き天の神の祭司メルキゼデクは、パンとぶどう酒を持って来て、

19・20 アブラムを祝福しました。「天地のすべてを造られた、いと高き神の祝福が、アブラムよ、あなたにあるように。あなたを敵に勝たせてくださった神があがめられるように。」アブラムは、メルキゼデクに戦利品の十分の一を贈りました。

神様の言葉である聖書が、メルキゼデクをサレムの王であり、いと高き神様の祭司であると明確に宣言していることに注目してください。

新約聖書は、この歴史的記述を次のように繰り返しています。

<ヘブル人への手紙 7 章:1 節-3 節>。

1 メルキゼデクは、サレムの町の王で、非常に高貴な神の祭司でした。アブラハムが多くの王たちとの戦いに勝って凱旋した時、メルキゼデクは出迎えて祝福しました(創世 14・18-20)。

2 その時アブラハムは、戦利品の十分の一をメルキゼデクに差し出しました。メルキゼデクという名前の意味は「正義」であり、サレムという町の名は「平和」を意味していました。ですから、彼は正義の王であり、平和の王です。

3 メルキゼデクには父も母もなく、先祖の記録もありません。また誕生も死もなく、そのいのちは神の子のいのちに似ています。それゆえ、彼は永遠に祭司なのです。

すばらしい人生の言葉です。アーメン。しかし、使徒パウロは、メルキゼデクとイエス様がアブラハムよりも偉大であることを宣べ伝え、証明するためにこれを書いたのです。アーメン！パウロはダビデのメシア預言を引用しています。

<詩篇 110 篇 4 節>

主は、こう誓われました。「あなたが永遠にメルキゼデクのような祭司であるという契約は決して無効にはならない。」

そうです。素晴らしい「いのちの言葉」です！しかし、これでは、神様が私たち新約聖書のクリスチャンに、神様への什分の一献金の奉仕において何を期待されているかを知る助けにはなりません！

私たちの聖書のアドベンチャーは続きます...

メルキゼデクのような神の人のような祭司は他にもいたのでしょうかとあなたはたずねるかもしれません？そして神の人のような祭司とはなんのでしょうか？

<ヘブル人への手紙 7 章 3 節>はこのように言っています。

3 メルキゼデクには父も母もなく、先祖の記録もありません。また誕生も死もなく、そのいのちは神の子のいのちに似ています。それゆえ、彼は永遠に祭司なのです。

下記<創世記 17 章 1 節-5 節>に示されているように、メルキゼデク王は、神様によって約束された家族、アブラムの家族につながる家族を持っていませんでした。

1 アブラムが九十九歳になった時、主が彼に現れました。「わたしは全能の神である。わたしの命令に従って正しく生きなさい。

2・3・4 わたしはあなたと契約を結ぶ。あなたが大いなる国民となることを保証する契約である。これから、あなたは一つの国民だけでなく、たくさんの国々の先祖となるのだ。」主が語るのを、アブラムは地にひれ伏し、額をすりつけんばかりにして聞いていました。

5 「契約はもう一つある。わたしはあなたの名前を変える。これからは『アブラム』〔「地位の高い父」の意〕ではなく、『アブラハム』〔「国々の父」の意〕と名乗りなさい。

メルキゼデクがアブラハムと何の家族的つながりもないことが神秘的なのです！聖書はまた、神様がアブラムに御自身を現され、このユニークで特別な約束を与えられたと伝えてあります。その中には、メシアの約束、アブラハムの家族におけるキリストの誕生も含まれています。イエス様が生まれたヨセフも聖母マリアも、アブラハムの直系の子孫です。しかし、アブラムはメルキゼデクと呼びました。しかしアブラムは、このメルキゼデク王が最も異教的で罪深い「カナン人の約束の地」にいることを知っていました。しかし、彼はためらうことなく、<創世記 14 章 20 節、ヘブル人への手紙 7 章 4 節>にあるように

アブラムは、メルキゼデクに戦利品の十分の一を贈りました。

メルキゼデクのような司祭は他にもいるのでしょうか？

なぜ聖霊なる神様は、私のお気に入りの本のひとつである Don Richardson の『Eternity in Their Hearts<彼らの心に宿る永遠>』（ETH）に私を導いてくださったのでしょうか？宣教の歴史を学んだことのある人なら誰でも、Don Richardson が聖霊様の油を注がれた優秀な宣教師であったことを知っています。彼の著書『Peace Child<平和の子>』は、

Irian Jaya.での彼の体験をもとに宣教師たちに教えを説いています。Irian Jaya.は現在インドネシアの一部となっているニューギニア島の西半分です。Donは古代神話にイエス様のあがないの類似性を見出しました。彼の使命は、激しく争う部族文化に対してでした。彼らは友好的な食べ物の贈り物で他の部族を誇らしげに太らせました。そして彼らを殺し、その肉を食べました。古代の神話には、敵と息子を交換することで部族間の和平を求めるというルールがありました。もちろん、Donは部族長たちに彼ら自身の伝統を勧めました。そして、神様の子イエス・キリストと十字架につけられたイエス・キリストの福音.....救いと永遠の平和を彼らと分かち合いました。これらの食人族は、父なる神様が神様の御子であるイエスキリストを自分たちのために交換してくださったと信じました！

私は親愛なる OIC 聖徒の皆さんに「私たちは皆、OIC の宣教師です！」とよく言います：それが私の中で OIC の皆さんへの最高の称賛であることをご理解いただきたいです。私が個人的にお会いした多くの宣教師の中で、ある有名な宣教師はかつて「宣教は神様の鼓動です！」と言いました：異文化宣教への召命に心に留めることは、失われ死にゆく人々に対する神様の鼓動を聞くことです。私たちは皆、ここ OIC で文化の壁を越えています！

Don Richardson 著『Eternity in Their Hearts<彼らの心に宿る永遠>』を読み返すと、地球上のいたるところで、アブラハム、イサク、ヤコブの神様に仕える真の祭司たちの驚くべき歴史が記されていました。地球上のいたるところで、アブラハム、イサク、ヤコブの神様に仕える真の祭司たちは、神様が彼らの心に啓示されたのです！実際、Donはアブラハム父の血統以外の神様の啓示を説明するために、ペルーのインカ族という特定の部族文化を選びました。以下は『Eternity in Their Hearts<彼らの心に宿る永遠>』からの引用です：

ペルー，15世紀---PachacutiはスペインのConquistadorsが到着する少し前のインカの王でした。インカにとって太陽神は神々の長でした。しかし、Pachacutiは太陽が雲に覆われ、半分の時間しか見えないことに気づきました。彼は、他を超越する唯一の全能の神様が存在することを発見しました。残念ながらインカには、Conquistadorsによって絶滅させられる前にイエス様の福音を伝える者がいませんでした。しかし、これらの侵略者はPachacutiと、彼の革命的な発見を受け入れたインカの上流階級の人々を見つけることはありませんでした。Pachacutiは家族とともに秘密の山に隠れていました。真の神様と同じ特徴を持つ唯一の創造主なる神様という「グッド・ニュース」は、このインカ世界で聞かれることを妨げられました！インカは、人殺しのConquistadorsによって地上から消し去られました。

万物の唯一の創造主「Viracocha」は、Pachacuti'sの父親にその姿を現しました。Pachacuti'sの父親はViracochaの夢を見ました。Pachacutiは、自分の心もこの創造神から聞いたことを悟り、この「良い知らせ」を広めるためにインカの司祭たちを招集しました。彼は、インカ人がもはや太陽を崇拝するのではなく、目に見えない創造神Viracochaを崇拝することを提案しました。

Richardson の注目すべき言葉をいくつか紹介しましょう：“スペインのカトリック教徒が、インカの「偶像崇拜」を廃絶しようと躍起になるあまり、一神教の信仰を破壊してしまったことは、何とも皮肉なことである。この信仰は、事実上、Viracocha's の御子受肉という福音を何千人もの人々に伝えるための、暫定的な旧約聖書を構成していたのである。私は旧約聖書の「代替」ではなく、旧約聖書の「暫定」と言ったことに注目していただきたい。15世紀のペルーでPachacutiのような人物を発見することは、Urにアブラハムを見つけたり、カナン人の中にメルキゼデクを見つけたりするのと同じくらい驚くべきことである！もしタイムスリップが可能なら、Pachacutiは私がお会いして見てみたい男性の一人だ。私はPachacutiをインカのメルキゼデクと呼びたい。しかしその後...スペインのConquistadoresがやってきた！”

新約聖書（1世紀の教会）における什分の一献金は？

新約聖書には什分の一という言葉は出てこないのです、私たちの聖書アドベンチャーは続きます！神様を喜ばせたいという私たちの心の願いに答えてくださるよう、神様の声を聞くことができるよう、私は神様をお願いしています。使徒パウロは、神様が喜ばれると信じるものを、次のように明確に描いています。

<コリント人への手紙Ⅱ8章9節-13節>

9 あなたがたは、主イエス・キリストが、どんなに愛と恵みに満ちておられたかを知っています。あれほど富んでおられた主が、あなたがたを助けるために、あれほど貧しくなられました。その貧しさによって、あなたがたを富む者とするためでした。

10 一年前に始めたことを、この際、やり遂げてみたらどうでしょう。この献金を最初に申し出たのも、最初に実行に移したのも、あなたがたなのですから。

11 あんなに熱意を持って始めたのですから、自分の持っているものの中から、ささげられるものはみなささげ、喜んでこの計画を完成すべきです。最初の熱意が、現在の行動にも現れてほしいものです。

12 ささげる熱意がほんとうにあるなら、いくらささげるべきかは問題ではありません。神様は、持っていないものまでささげるようにはおっしゃいません。

13 私は、献金を受ける人たちが、あなたがたの犠牲によって楽をするのは当然だと言っているのではなく、

11節のパウロの言葉をよく見てみましょう。

自分の持っているものの中から、ささげられるものはみなささげ、喜んでこの計画を完成すべきです。

比例して10%、什分の一でなければならないと言いたいのかもかもしれません。しかし、ギリシャ語(NTG)によれば、そうではありません。

だから今、それをやり遂げなさい。そうすれば、それを望むあなたの喜んでする気持ちと、それをやり遂げるあなたの喜んでする気持ちが、あなたの手段が許す限り、一致するようになる。

このギリシャ語の聖書箇所には什分の一献金やその他のいかなる割合も示唆されていません。

コリントの信徒への惜しみない献金への呼びかけ<コリント人への手紙Ⅱ8章1節-5節>で、パウロはこう言及しています。

1 ところで、神様がマケドニアの諸教会にどんな恵みを施されたか、お知らせしたいと思
います。

2 多くの試練や困難のただ中であつたマケドニアの諸教会が、ひどく貧しいにもかかわらず
喜びに満ち、その結果、あふれるほど惜しみなく、他の人々に施すようになりました。

3 自分たちの力に応じてささげただけでなく、力以上にささげました。私がやかましく
催促したからではなく、自発的にそうしたのです。

4 「エルサレムのクリスチャンを援助できるのは光栄です。ぜひその仲間に入れてくださ
い」と、熱心に願ったのです。

5 何よりもすばらしいのは、彼らが期待をはるかに超えることをしてくれた点です。まず、
自分自身を主にささげ、また私たちにもゆだねてくれました。それは、神様が私たちを通
してどんなことをお命じになっても、それに従うためです。

パウロは、マケドニア教会の行為によって、コリントの信徒たちを「へりくだり」させて
いるようです (2 節)。

多くの試練や困難のただ中であつたマケドニアの諸教会が、ひどく貧しいにもかかわらず
喜びに満ち、その結果、あふれるほど惜しみなく、他の人々に施すようになりました。

パウロは、ヘブライ人クリスチャンが律法の下に戻るようなことを避けていたのでは
しょうか？それがパウロの考えの一部だったのかもしれませんが。ユダヤ人の感覚では、什分の一
献金という言葉は律法と結びつけられ、父アブラハムやメルキゼデクとは結びつかないで
しょう。しかし、パウロは規則や律法ではなく、聖霊なる神様に頼っていることがわかり
ます。サタンと罪から解放された魂は、完全な感謝な気持ちで可能なら、100%の贈り物
をするでしょう！パウロはそのことを知っていましたし、自らそれを実践していました。
宣教師は什分の一献金をしなくても、宣教師はその召命に応えるために、自分の人生と肉
体と経済とを 100%イエスに捧げています。しかし、パウロはテント職人として、彼を支
える人々の負担を軽くするために働きました。＜コリント人への手紙Ⅱ8 章 4 節＞は そ
のすべてを言っています。：

4 「エルサレムのクリスチャンを援助できるのは光栄です。ぜひその仲間に入れてくださ
い」と、熱心に願ったのです。

イエスキリストの十字架刑は、私たちクリスチャンを律法の呪いから解放しました。新約
聖書の献金の奉仕に関する記録は、什分の一献金ではなく、常に献金として示されていま
す。問題の中心はクリスチャンの心です。＜コリント人への手紙Ⅱ8 章 4 節＞にあるよう
にマケドニアのクリスチャンたちは、パウロたちに何度も何度も、この贈り物を分かち合
う特権を懇願しました。というわけで、什分の一献金と献金に関するこの聖書アドベンチ
ャーの最後を締めくくることにしましょう。：

クリスチャンは献金をするのか、それとも什分の一献金を捧げるのか？それとも両方？

あなたは無理のない範囲でこう尋ねるかもしれませんが。ペルーの歴史と Irian Jaya. の宣
教師 Don Richardson は、OIC の什分の一献金と献金と何の関係があるのでしょうか？1 世
紀のキリスト教徒は、実際にはもっと戦争好きな Irian Jaya 族のような環境にいまし
た。戦争による恐怖と身体的な危険がいたるところにあつたからです。残忍なローマ軍は
犯罪を阻止するために法律を守っていました。しかし、Caesar. を崇拝しないことも犯罪
でした。1 世紀人の平均寿命は約 40 歳でした。しかし..... 神様からの賜物である、キ
リストの内にある永遠の生命を受け取ったばかりだということのに、何年という年月があるの
でしょう。クリスチャンたちはそれを理解しました！彼らは教会を存続させるための献金

を、律法の重荷ではなく、特権だと考えていました。彼らは、自分たちが生き続けることよりも、教会を存続させることの方が重要だと考えていました！

私が今から「What if Game <もしこうだったらという、とんでもないシナリオを題材にした陽気なパーティーゲーム>」をするので、どうぞ牧師の私をお許してください。

<What if Game (もしこうだったら) No. 1>

もし 1945 年にヒトラーがアメリカを征服していたら？

彼はユダヤ人とキリスト教徒を殺したでしょう。

<What if Game (もしこうだったら) No. 2>

ビリー・グラハムがテレビに出ていなかったら？

イエス様が彼の番組を使って私をサタンの厳しい支配から解放してくれた夜もなかったことでしょう。

<What if Game (もしこうだったら) No. 3>

もし 1952 年、米国が北朝鮮に原爆を投下していたら？

中国はおそらく、朝鮮半島を経て日本に侵攻を拡大したでしょう。

毛沢東が日本のキリスト教徒を皆殺しにした後、ここにいる多くの人々が魂を救うために福音を聞く機会があったのでしょうか？ 毛沢東は中国全土を奪取するための血みどろの戦争で、ヒトラーがヨーロッパでユダヤ人を殺害したよりも多くのキリスト教徒を殺害するよう共産党軍を導きました！1950 年代以降、誰があなたをキリストに導くためにここにいたのでしょうか？

<ヘブル人への手紙 2 章 3 節>.

そうであれば、主イエスご自身の口から語られ、それを聞いた人たちが伝えたこのすばらしい救いの教えを無視したなら、どうして罰を逃れることができるでしょう。

地元の教会を支えるための献金は、この偉大な私達の救いへの私たちの応答でなければなりません。什分の一献金と献金について答えを求める聖書アドベンチャーは、感謝の心からの献金で終わると信じています。パウロは、宣教師としての支援と牧会した教会の支援は、私達を救ってくださった偉大なる神様への私たちの応答である心からの神様への感謝をあらわす献金に結びつけていました。私もそうです。

多くのクリスチャンが、「献金」の前に、什分の一献金や収入の 10%を「目安」として献金されていることを知っています。これは聖書におけるパウロの教えとはまったく違います。私も同意します。数値的なパーセンテージが人の心に合うわけがありません。最初の 10 パーセントは律法で決められていて、残りは心からの贈り物なののでしょうか？パウロは什分の一献金という言葉さえ使っていません。

<コリント人への手紙Ⅱ 8 章 11 節-13 節>.

11 あんなに熱意を持って始めたのですから、自分の持っているものの中から、ささげられるものはみなささげ、喜んでこの計画を完成すべきです。最初の熱意が、現在の行動にも現れてほしいものです。**12** ささげる熱意がほんとうにあるなら、いくらささげるべきかは問題ではありません。神様は、持っていないものまでささげるようにとはおっしゃいません。

13 私は、献金を受ける人たちが、あなたがたの犠牲によって楽をするのは当然だと言っているのではなく、

パウロの言葉（11節）をよく見てみましょう。

あんなに熱意を持って始めたのですから、自分の持っているものの中から、ささげられるものはみなささげ、喜んでこの計画を完成すべきです。最初の熱意が、現在の行動にも現れてほしいものです。

比例して10%、**什分の一**でなければならないと言いたいのかもかもしれません。しかし、ギリシャ語(NTG)によれば、そうではありません。

だから今、それをやり遂げなさい。そうすれば、それを望むあなたの喜んでする気持ちと、それをやり遂げるあなたの喜んでする気持ちが、あなたの手段が許す限り、一致するようになる。

＜コリント人への手紙Ⅱ8章11節＞における私達の心のキーワード：

- ・ 始めたことをやり遂げる
- ・ 最初に見せた熱心さ
- ・ **持っているものに応じて与える。**
- ・ 熱心に献げるよいものであれば、よいもの何を献げてもよい
- ・ 献金をすることで、他人には楽をさせ、自分には苦勞をさせるべきだという意味ではない
- ・ 平等であるべき

平等ということに関しては、パウロは犠牲的な献金における平等を意味していたのだと思います。彼は貧しいマケドニア教会を目安にしたのであって、10%を目安にしたのではありません！この献金は何であるかは、神様の御霊様とあなたの心だけが本当に知ることができます。神様は私たちの愛を献金のパーセンテージで計るのではなく、御子イエス様の教会を支えようとする熱意で計られます。

私は牧師として、またアメリカのIMF (International Ministerial Fellowship) で宣教師として叙階されています。彼らは10分の1という指針を示しません。メンバーの多くは宣教師や開拓牧師です。多くは豊かな国や地域ではありません。IMFは、各牧師やサラリーマンのメンバーに1%以上の「什分の一献金」を勧めています。什分の一という言葉はもはやふさわしくありません。それはまさに献金のアピールです。私は、パウロが教えたことに最も近いこのアプローチに同意します。

私たちはまた、繁栄に関する旧約聖書からの行動をチェックしなければなりません。

Charles Haddon Spurgeonは真理を語りました：「旧約聖書では、繁栄は天地の主に仕える忠実な者の印であった。新約聖書では、逆境は、天地の主イエス様の忠実な僕としての印である。」

神様は＜ピリピ人への手紙4章19節＞で約束しておられます。

神は、キリスト・イエスが成し遂げてくださったことによるご自身の栄光の富の中から、あなたがたに必要なものをすべて満たしてくださる方です。

神様は私たちの心を探られます。

＜コリント人への手紙Ⅰ2章11節＞

人が何を考えているか、その人が実際にどんな人間であるか、本人以外にはわかりません。同様に、神の考えを知りうるのは、神の霊以外にありません。

＜伝道者の書3章11節＞ (NIV).

あらゆることには、ふさわしい時というものがあります。また神は、人間の心に永遠を思う思いを与えました。しかし、人は神の働きの全体を見ることができないのです。

クリスチャンの永遠への渴望は、イエス様によって満たされました。その感謝の気持ちと熱意をもって、地元の教会に献金すべきです。

祈りましょう。